

■農村工学関係研究行政技術協議会の開催

・農村振興局建設部設計課施工企画調整室の阿武室長が、「現在、農水省では政務三役主導のもと、行政ニーズをより効率的・効果的に研究に反映させる方策や研究成果を実用化しさらに普及していく戦略などについて検討しています。」と挨拶。



・農工研の小泉企画管理部長が、「農工研が取り組む研究は、平成23年4月から、第3期中期計画（H23年度～H27年度）に基づいて実施されます。この大きな節目に、農工研の実施計画（案）が農村振興局の施策ニーズを的確に反映できているか、また、農工研の研究成果を普及させるためにはどのような条件整備が必要かなどについてご意見を伺いたい。」と挨拶。



・農村振興局建設部設計課の西野課長補佐（設計基準班）から、「個別会合においては、行政ニーズの集約・絞り込み、対応方針の検討と確認の徹底、開発された技術を現場に普及させるための方策を検討いただきたい。」と趣旨説明。



・分科会形式による意見交換の様子。
・優良農地、ストックマネジメント対策、不利地対策、防災・減災対策、温暖化対策、バイオマス利活用、生物多様性というテーマ別に深掘りした議論を行い、最後に、その結果をテーマ毎に発表し、相互に課題を確認しました。

